

祝
日本情報科教育学会 設立

パネル・ディスカッション



MLab. Matsubara Laboratory
Faculty of Education, Shiga University, Japan

滋賀大学教育学部 松原研究室

1



日本情報科教育学会 設立総会 講演会
2007年12月23日(日)

パネルディスカッション

わが国の情報科教育の未来と
本学会に期待すること

～学会設立の趣意書より～

滋賀大学 松原伸一

Prof. Shinichi MATSUBARA, Ph.D.



MLab. Matsubara Laboratory
Faculty of Education, Shiga University, Japan

滋賀大学教育学部 松原研究室

2

学会設立の趣意書より

- 新たに教育課程が編成される際
 - 長期にわたる継続した教育研究が必要
- しかし,
 - 情報教育に係る種々の担当者が短期で交代
 - 研究者:研究テーマの変更, 教員:担当教科を変更
 - 教育研究を継続して行なうことが困難な状況
- 長期にわたり, 継続した研究を維持するためには,
 - 教科「情報」に係る諸課題を
 - 直接に研究のテーマとする → 組織が必要



私たちは,

- このような状況を共通に認識し,
 - 情報科教育研究を継続的に進めるため,
 - 関心をもつ多くの関係者に広く呼びかけ,
- 研究を支援し, 成果を交流できる場の提供,
 - 成果を社会に還元できる組織として,
 - 「日本情報科教育学会」の設立を提案



日本情報科教育学会は、

- 関係学会等のご協力のもとで、発足し…
 - (社)情報処理学会
 - 日本教育工学会
 - 教育システム情報学会
 - 日本情報教育開発協議会(JADIE)
- 情報という教科を中心に置き、
 - その教育学的・哲学的な研究はもちろんのこと、
 - 教科の在り方について、
- 恒常的・組織的に研究を進める必要



教科教育系の学会は、

- 必ずしも、規模の大きさではなく、
 - 半世紀にもわたる長い期間において、
 - 個人研究はもちろんのこと
- 組織的・恒常的にも研究を行い、
 - 将来においても持続することが、
 - 各方面から信頼される最大の要因となる



以上のように、

- 情報科教育研究におきましては、
 - 優れた研究者・実践者の養成に加え、
 - それを支える組織が必要
- このような状況をご理解いただき、
 - 本学会の設立に向けて、
 - ご協力・ご支援を賜ることができまして
 - 本日、設立総会の運びとなりました



情報科教育
で担う
2つの情報教育

〇〇科教育

○数学科教育では、何を教えているか？

○国語科教育では？

○理科教育では？

○それでは、情報科教育では？



9

情報科教育：内容の再考

●情報科教育では、何を教えているか？

- パソコンの操作法？
- ソフト(アプリケーション・ソフト)の利用法？
- インターネットの利用法？

→ 情報スキル

- 情報社会のルールやマナー

→ 情報モラル



10

〇〇科を学ぶための基礎

- 数学（算数）
 - 計算 → 足し算，筆算，九九， …
- 国語
 - かきかた → ひらがな，カタカナ， …
- 理科
 - 観察・実験 → 実験器具の使用法，
実験・観察結果の記録法， …
- 情報
 - 情報スキル → パソコンの操作，
ソフトの利用など， …



11

「〇〇科教育」の学習内容

- 数学科教育 → 数学
 - 代数学，幾何学，解析学， …
- 国語科教育 → 国語
 - 現代国語，古文，漢文， …
- 理科教育 → 理科
 - 物理，化学，生物，地学， …
- 情報科教育 → ????
 - 情報学（情報について，情報工学，情報科学， …）



12

情報科教育は、

- いわゆる「情報教育」とは異なり，
 - あくまでも教科として，
 - 一体的な「情報」の教育が行われることを前提として存在しうるもの
 - 教科教育学の一環を担うもの
- したがって，論理的には，
 - 教科のないところに教科教育は存在し得ない



13

2つの「情報教育」

- 伝統的には
コンピュータを学ぶ ⇔ コンピュータで学ぶ
- (教科) 教育学の立場では
教育内容 (学習内容) ⇔ 教育方法 (学習方法)
- 初等中等教育における教育の情報化に関する検討会議 (文部科学省)
情報活用能力の育成 ⇔ IT活用 (ICT活用)

情報(学)教育



ICT活用教育



14



*** END ***

ありがとうございました。

